

ジョブ理論アンテナ・ワークショップ ヨツプ

ジョブ理論の学び方を学ぼう



version 1.0

toiee Lab LIVE™ textbook for Learning Faciliator

イントロ

講座の導入です。講座のゴールなどに触れます。

開始	終了	所用時間
0:00	0:05	5min

設計意図

- 今日の講座のゴールを知らせる
- ジョブ理論を知ることの効用を伝えて、期待を持ってもらう
- ジョブ・アンテナを立ててもらう

ワークの進行


1. 話す

- クレイトンクリステンセン
 - 超有名、名だたる企業が学ぶ、ハーバード教授だった人
 - 破壊的イノベーションに関する研究で有名
- ジョブ理論
 - イノベーションの機会を見つけ出すための分析方法
 - 優れた企業、サービスを構築する重要な視点
- 今日の目標
 - ジョブ理論の中心的な考え方を知る、実践する
 - ジョブ理論の目、アンテナを晴れるようになる
 - そうなれば、読むたびに「発見」と「ジョブ理論の深い理解」を得られるよ
- 講座後にしてほしいこと
 - 読書会を開く、参加するなど
 - 仕事でどんどん使うこと
 - 練習すること

ポイント

- 長い自己紹介などはせず、短く説明して、スムーズに次のワークに入る

参考書籍について



<http://amzn.to/2D5PAX9> <http://amzn.to/2o00ix3>

その他、クレイトン・クリステンセン氏の書籍もお勧めします
<http://amzn.to/2D41DV1>

画像などはamazon.co.jpより引用

- ゆっくり、落ち着いて話す

ウォーミングアップ

学習に取り組みやすくするための、ウォーミングアップのワークです。

開始	終了	所用時間
0:05	0:30	25min

設計意図

- Good & New 買い物バージョンで、リラックスする。他の参加者と打ち解ける。
- 買い物体験を話すことで、次のワークのフリとする
- Think & Listen
 - 肩の力を抜いて、自分の具体的な経験を通じて、知らずのうちに「ジョブ理論による分析」を実行してもらう
 - 複数人の買い物体験分析を聞くことで、共通のパターンを見出すフリとする
 - 次のワークにつながる重要なウォーミングアップ

ワークの進行

1. Good & New (5min)

- 説明する
 - 学習モードに入るために、ウォーミングアップのワークをする
 - 端的に、「良く」て、「新しかった」ことを説明するワーク
 - **今回は、買い物バージョン**と伝える
 - 最近買ったもので、よかったもの、何がよかったか？を「簡潔に」話す
 - 例) 今日の朝、忙しい中、適当に買ったサンドイッチが美味しかったです
- 拍手をしっかりするように促す

ポイント

- クッシュボールが必要
- やり方をデモして示すと、学習者にとって理解しやすい
- なんと良いかかわからない学習者がいるときは、「些細なことでもいいですよ」「今日の朝何かなかったですか？」などと介入する

2. Think & Listen 1回目 (15min)

- 説明
 - Think & Listenは、思いつくまま、頭によぎったことを流れるように話すワーク
 - 支離滅裂になっても構わないので、話し続けてもらう
- ペアになってもらい、話し手と聴き手を決めてもらう
 - このワークでは、資料を見ながら、話してもらう
- テーマ
 - 自分の買い物について、分析シートを見ながら、どんどん話す
- ワークについて
 - 一人3分を使う
 - 3人以上のグループで行うこと（重要）
 - 1min用意して、何について話すかを考えてもらう（カウントダウンをすると良い）
 - ワークをスタートする前に「リラックスするように」伝える
 - 話し中に、カウントダウンをすると効果的

商品について話そう(約1分)

私が最近購入したもの(サービス)は (1) _____ です。

(1) は、……商品・サービスの特徴などを説明…… のような商品(サービス)です。

商品の購入背景を話そう(約2分)

どんな状況下で、何のために、なぜそれを、

3 ©tolee Lab

ポイント

- 説明しきってからではなく、「まずはグループになってください」など、行動をさせながら説明すると、説明しやすい
- デモをすると、学習者がThink & Listenの取り組み方を理解しやすい
- 話し手と聴き手を決めてもらう時、「朝早く起きた方から」などこちらが言うとスムーズに決まりやすい

3. 発表する (5min)

- 学習者(2、3人)に発表してもらう
 - どんな話になったか？
 - 気づきは何か？

ジョブ分析

分析シートを使って、インタビューしてみよう。

開始	終了	所用時間
0:30	1:15	45min

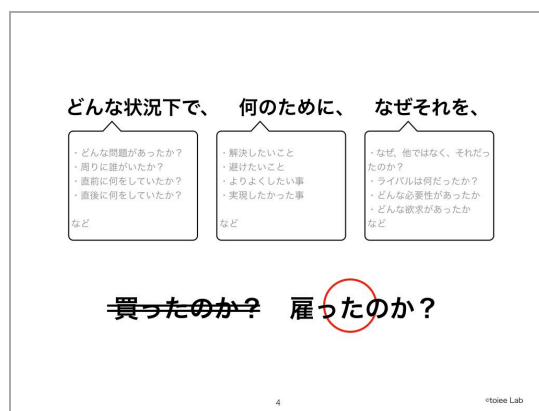
設計意図

- ジョブ理論を理解するには、ジョブ理論分析を「やってみる経験」が不可欠
- インタビューを通じて、分析する経験があれば、書籍のケーススタディーなどを読む事で類推が可能になる
- このワークでは、インタビュー（分析ではない）を行い経験を蓄える
- こののちに「分析」を行う

ワークの進行

1. 説明 (5min)

- シートを使ってインタビューしてみよう
- チームメンバーの購入したものを詳しくインタビューして、どんな状況で、なんのために、なぜそれを購入したのかを聞き出そう
- その際、なぜ「買ったのか？」ではなく、「なぜ、雇ったのか？」という言葉を使ってください



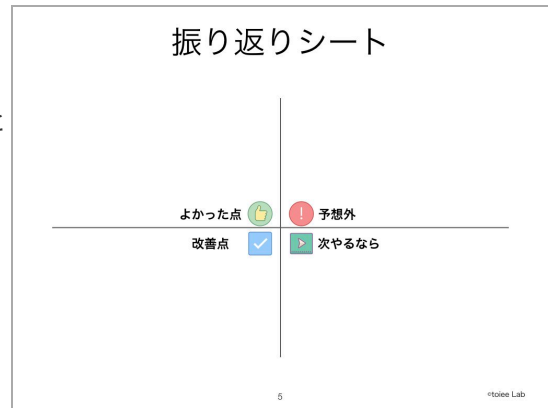
ポイント

- 買うではなく、雇ったか？と聞くように促す
- インタビューされた人は、難しく考えず、「雇った」という言葉を使って考えてもらう

2. ワーク説明 (20min)

- 3人以下のチームを作る
- シートを見ながらインタビューをすることを行う (1人 5min)
- 一回のインタビューごとに「インタビューの仕方」を振り返って、改善する

- インタビューの仕方によかった点は？
- 改善点は？
- 予想外のこと（よかったことも、悪かったことも）
- 次のインタビューでは、どんな工夫をするか？



ポイント

- 毎回、振り返りを行うことでインタビューを洗練させる
- インタビューが洗練させられたことを気づいてもらうこと

3. 発表する (5min)

- インタビューをして気づいたことは何か？
- どんなインタビューの仕方が、相手の理解に役立ったのか？

4. 雇う vs 買う (15min)

- チームで議論する (5min)
 - 「雇う」と「買う」の言葉を使うことで、どんな違いが生まれるか？
- 発表(10min)
 - どんな違いが生まれるか？
 - なぜ、そう思うのか？

ポイント

- LFTは、抽象度が高まるように質問することが重要
- なぜ、そのような違いが生まれたのか、具体例を聞き出そう
- その中から、どんな法則、原則を考えられるか質問する

ジョブ理論の定義を読書しよう

ジョブ理論の定義を議論して、理解するチャレンジをする。

開始	終了	所用時間
1:15	1:30	15min

設計意図

- ジョブ理論の書籍の「ジョブの定義」を読んでもみる
- わからないところだらけで構わないから、まずは「読書」してみることが大切
- わからないところから、少しずつ、分かることを広げていくことを学ぶ
- そのための第一歩を踏み出す

ワークの進行

1. 説明

- 5min間の読書をしてみよう
- 読みながら、わからないところや、補足のような説明は無視して、自分なりに
- 「要するに・・・」を繰り返して、読んでみようとする
- メモをすると良い

要するに・・・

2. ワークする（要するに・・・） 10min

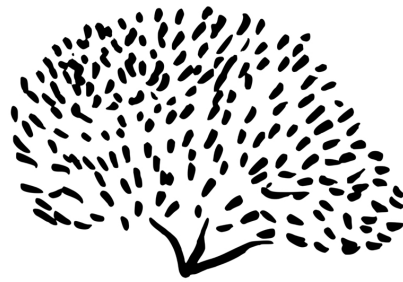
- チームで「要するに読書」してもらおう
- メモを取ろう（要するにメモ）
- どんな「要するに」だったのか？

3. 全体シェア

- 気づき、学びは何か？ - 読み方についての気づき、学びは何か？ - これまでのワークとの関連での気づき、学びは何か？

休憩

開始	終了	所用時間
1:30	1:40	10min



BREAK

休憩

ジョブの定義を探求しよう

書籍の「ジョブの定義」をもっと詳しく探求する。

開始	終了	所用時間
1:40	2:05	25min

設計意図

- ジョブ理論についての「簡潔な定義」を理解することにチャレンジし、図解を参考にして学ぶ
- 自分たちで「どんな定義か？」をしっかりと詰めた上で、toiee Labの資料を参考に、さらに洗練させることで、思考を詰めていくことを学ぶ
- Teach Othersすることで、多面的に分析してもらう
- 他の人の発表を聞くことで、多くの内容を知ってもらう

ワークの進行

1. 説明 (5min)

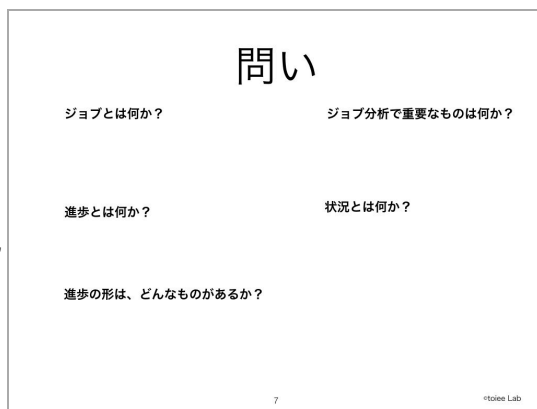
- ジョブ理論の定義をしっかりとさせて行こう
- 定義を読んで、議論して、図解にしてみよう
- それを他の班に発表してもらうよ、わかりやすく説明しよう

ポイント

- 他のチームにわかりやすく説明することを目指す
- 文章を読んで、議論してもらう
- ポストイットや、図、ホワイトボードなどを積極的に使ってもらう

2. 議論 (10min)

- 議論してもらう
- 発表の準備をしてもらう

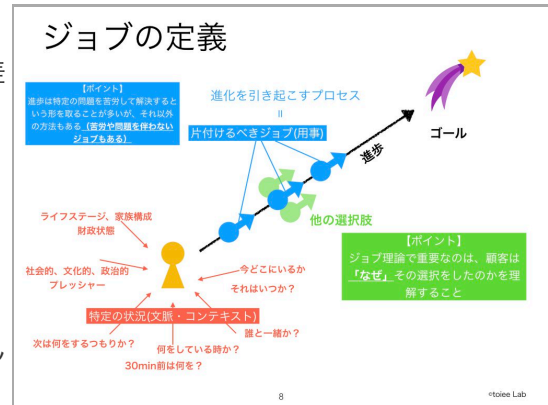


3. 定義をチェックして、振り返る(5min)

- ジョブ理論の定義資料を配る
- これをもとに考えてもらう、自分たちの議論との差などをチェックする

4. 気づきを発表 (5min)

- 発表はしないことを知らせる
- 発表するつもりだと、学習が促進されるのでそうしたと説明
- 気づき、発見をシェアしてもらう



実践、ジョブ分析

ジョブ分析を実践して、発表して、議論しよう。

開始	終了	所用時間
2:05	2:50	45min

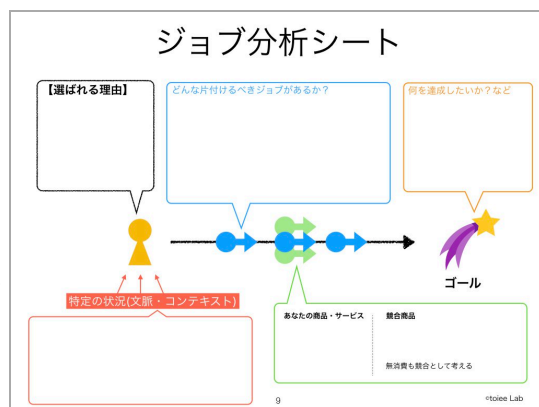
設計意図

- ジョブ分析を実際に行うことで学ぶ
- ジョブ分析の結果を発表しあい、議論し、学ぶ

ワークの進行

1. 説明

- 特定の商品、サービスについてジョブ分析をしてみよう
- ジョブ分析を発表して、議論してもらおう
- 誰か一人を被験者にするか、共通で理解しているものでも良い



2. 議論する (20min)

- 議論の仕方を振り返る機会を作っても良い - いろんな意見を出すように仕向ける - ジョブの定義を見直したりするように知らせる

3. 発表する(20min)

- チームごとに発表する - チームの発表に対して質問する - 1チーム 5 - 10min の持ち時間とする

4. まとめ (5min)

- 気づきを発表してもらおう

まとめ

ワークの振り返りと、発展的な情報

開始	終了	所用時間
2:50	3:00	10min

設計意図

- 今日の学びを振り返る
- 学び方に注意を払う
- 今後の学び方について考えてもらう

ワークの進行

1. 説明

- 今日の振り返りをする - 今日学んだこと、これからジョブ理論を活用するアイデア、ジョブ理論を深く理解するためのアイデアを出してもらおう - それらを発表してもらおう

2. 考える

- チームでアイデアを出してもらおう

3. 全体シェア

- 全体で、3つのことをシェアしてもらおう

発展的に学ぶために		
今日の学び・気づき	ジョブ理論の活用アイデア	ジョブ理論を深く理解するためのアイデア

10 ©tootee Lab